

中村消防団

【中村区】

【学区紹介】

私たち中村消防団詰所の西には、「中村公園」が広がり、南西に「大鳥居」が聳え立ち、南に「名古屋第一赤十字病院（中村日赤）」があります。大鳥居は高さ二四mで中村区のランドマークとなっており、五月に開催される太閤まつりは大変な人出となります。高齢者の多い学区で老人のご夫婦や一人暮らしの家が多く、空き家も増えてきていますが、名駅へのアクセスもよく、マンションの新築も多い地域となっています。



【なでしこ】

中村消防団には三名の女性団員がいます。医療の現場と介護の現場で働いている頼もしい有資格者です。女性らしい細やかな気遣いがあり、現場対応力は男性団員より優れているかもしれません。今後も女性団員が増える事とあわせて、彼女たちの活躍を大いに期待しています。

【二つの詰所】

中村消防団の詰所は、創立百四十三年の中村小学校の敷地の北東にあります。それ以外に日々の連絡用としてラインをWEB詰所として利用しています。ほぼ九〇%の団員が登録しています。

団長からの連絡は、定例会・ポンプ訓練・防災訓練の事前連絡から、火災の際の招集（地図添付も可能）などとても便利に活用しています。



【団の活動】

毎月の定例会・ポンプ操法訓練以外に、町内の防災訓練や太閤まつりの警備などを実施しています。また、中村小学校の先生や児童の皆さんを対象に防災訓練を行っています

新たな知識・スキルを習得し、中村消防署と連携しながら、学区内の火災はもとより、南海トラフ巨大地震に立ち向かっていこうと思います



【もちつき】

毎年、年末特別警戒の前に詰所で餅つきをします。年末特別警戒中の夜食として、各団員のお正月用のお餅として、詰所のご近所には日頃の消防団活動にご理解をいただいているお礼に、また、中村消防署等にも差し入れしています。

もち米で一二〇kg（四〇白相当）を午前五時から午後七時位かけてつきあげる恒例行事です



【今後の課題】

中村消防団の所属団員数は、現在二十二名で学区の住民と同様に団員も高齢化傾向です。五年以内には現在の七〇代の五名は定年で退団します。

新規入団が無ければ一七名となり消防団として大きく定員割れになってしまいます。当面は、通常の消防団活動をしつつ、団員募集が重要な課題となります。

